

地域高規格道路「松本糸魚川連絡道路」の建設についての要望書

27 議会Cエー 3 第 6 号

平成 27 年 6 月 1 日

安曇野市長 宮澤 宗弘 様

安曇野市議会議長 宮下 明博

地域高規格道路「松本糸魚川連絡道路」につきましては、平成 23 年 7 月に「安曇野地域の概略ルート案」が長野県より提示され、住民説明会が開催されたところであります。

安曇野市議会として、広域的連携の必要性は認識しているところでありますが、人家や優良農地への影響が大きい案であり、沿線地域にもたらす影響や効果などは勿論のこと、安曇野市の将来のまちづくりなども含めた上で、総合的に判断することが必要と考え、本年 4 月 30 日から「地域高規格道路検討委員会」を設置し、議論を重ねてまいりました。

また、平成 23 年度以降、長野県からルートについて何ら説明がない状況が続いていましたので、各会派によるルート案等の検討も行いましたが、委員会として集約、ルート案提示には至りませんでした。

つきましては、検討委員会が出された次の意見を参考にいただき、一日も早く事業化に向けて、事業主体である長野県に取り組んでいただくよう要望します。

記

- 安曇野市のメリットを分かりやすく説明すること。
- 道路計画は県が責任を持って決めること。
- 市民のコンセンサスを得られる計画であること。
- 地域高規格道路を生かした「まちづくり」を考えること。
- 早期実現を目指すこと。
- 安曇野市が通過点にならないよう配慮すること。
- 南穂高～穂高を通るルートも検討すること。
- 観光、産業振興につながる道路であること。
- 市民に対して丁寧な説明を行うこと。